



Foreword

はじめに ことばを

震災は、「ことば」についても

考えさせた。

一倉 宏

的な問題にもなりました。このことについては広告業界のシステム上の話になりますし、本誌はこれを論じるのにふさわしい場所でもありません。ただ、新聞広告にせよTVCにせよ、こんなにきき企業発のどんなメッセージがありうるのか、何ができるのか、何をすべきでないのか。皆さんが悩まれたであろうまさにそのことについては、私自身も考えましたし、その一部を記しておこうと思います。それは以下のようなことです。

どちらの会社でもまず考えられたのは、いわゆる「お見舞い広告」というものでしょう。これ自体に關して私は可否を述べません。広告表現というより、むしろ挨拶や義理というものに属するところから考えます。私たち制作者の立場でいえば、ほとんど表現を考えられる部分がないのが実情です。よい意味でとらえれば、その出稿は人情にもとづくものといえます。とりあえず何らかの声をかけたい、コミュニケーションをとりたい、という気持ち。それ自体はもちろんよいこと、価値あるものに違いありません。にもかかわらず、そのお見舞い、挨拶の「ことば」は、ついつい紋切り型になりがちです。そこが問題です。

これは以前から日本人のコミュニケーションの弱点とされてきた部分です。定型文に頼る、いわゆる前例主義。突出を恐れる右ならえ主義。スピーチ下手という性格と同根のものでしょうか。お祝

昨年東北新幹線・新青森開業のキャンペーンを担当して、東北のことをかつてなく意識した一年を過しました。この春にはスタッフで「はやて」に乗って、という旅も話にあがっていました。自身は群馬の生まれ、事務所の坂本和加は栃木出身です。私たちは、関東と東北との連続性を、歴史や文化のつながりを、わが身の肌に近いものとして感じていました。やはり、人柄やことばにも「あづま＝東」の匂いはあるものだなあ。そんな親近感を抱いたりしていたところでした。この連休に、坂本は被災した大船渡の親戚宅を

見舞い、せめて片付けの手伝いくらいしてくるといつて出かけました。現地に着いた彼女から、まず届いたメールは「ことばもありません」。事前に状況も聞いていて、TVの画面で見ても、それは「ことばを失う」光景だったといえます。さて。この表現も難しい大震災の後には、広告界も「失語」するという状況に陥りました。これをお読みの皆さんも、きつと悩まれた立場にあつたかと思えます。まずTVCMが何週間にもわたつて流せない、代替措置の公共広告放映がいつまでもつづく、という前代未聞の状況があつて社会

いの場の挨拶は、あるいは電文なども、ずいぶん工夫を凝らし気持ちのこもったことばに出会うことが多くなりました。しかし、今回のような場面では、どうしても定型に頼り、右ならえをしてしまふ。たとえば、いま現在も目にする「一日も早い復旧をこころよりお祈り申し上げます」という文言。とりあえず、これだけでも何とかならないかと、広告畑ことば係の私は思います。それから「がんばろう、〇〇」というようないいかた。精一杯がんばっている人がたくさんいるのに。

とはいえ、実際ほかに何があるか。なかなかむずかしい問題ではあります。定型を踏み出して、ある表現をするには勇気がいります。でも、その勇氣は必要です。被災地を思う気持ちも、それから勇氣を出すための表現も、ひきつづき私たち広告関係者の課題になるでしょう。そして喉元を過ぎれば、旧に復す、ではない新しい時代の広告表現も、私たちはぜひ考えなければなりません。

一倉宏(いちくらひろし)

コピーライター。1955年、群馬県生まれ。筑波大学卒業後、サントリーに入社。宣伝部にコピーライターとして勤務。独立し一倉広告制作所を設立。代表作に、サントリーモルツ「うまいんだ、これが」NTTデータ「ホーキング編」、パナソニック「きれいなおねえさん」シリーズなど。TCC最高賞、ADC賞、毎日広告デザイン賞等、入賞。毎日広告デザイン賞審査員。著書に「ことばになりたい」(毎日新聞社)事務所ホームページ: <http://www.t-kura.com>

CONTENTS

2011.6

Foreword/一倉 宏 2

クリエイターの目 4

デザイナー・イラストレーター 水戸岡鋭治さん

特集 公共広告は社会を変える 6

関西大学名誉教授 植條則夫氏に聞く

インタビュー「100年先を見据えた公共広告を」 12

毎日広告デザイン賞「発言広告の部」審査員・青葉益輝さん

スペース・インタビュー 14

CCI国際綿花評議会

東アジア担当理事 ロバート・ミラーさん

気になる広告/葛西 薫 16

新しい広告の道/石崎 徹 18

チャイナNOW/松浦良高 20

えらいすまへん。/中島信也 22

おじゃましてます されてます 23

データ・フラッシュ 24

震災以後のメディア意識

「人と素敵な商品との出逢い」ときめきの海外旅行特集 26

2011年「みどりの日」特集 27

あどらんだむ 28

世界化学年記念ディスカッション特集

武田鉄矢さんが語る「言葉の魅力」企画

毎日とおさん!

コンスタンスホテルズ特集

毎日新聞NOWリニューアル

新聞広告調査データのポータルサイト「J-MONITOR」オープン

法政大学インターンシップ講座にて講演

青葉益輝・平和ポスター展

イベントカレンダー 30

WEB版SPACE 毎月更新中!
<http://macs.mainichi.co.jp/space/>

「SPACE」についてのお問い合わせ.....SPACE編集部03-3212-3283
spaceinfo@mainichi.co.jp

印刷/大日本印刷(株)

表紙デザイン/青葉 益輝